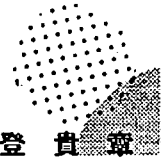


つくって実感!!

秋～冬の変化



札幌市立旭小学校 能登貴章

秋になると、ドングリなどの木の実がたくさん見られます。また、きれいに色づいた葉っぱが、あちらこちらでヒラヒラと舞落ちてきます。

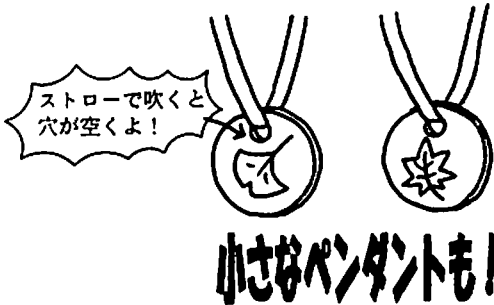
そんな秋の思い出を冬まで大切にしておきましょう。葉っぱは、見つけたものから、どんどん古い雑誌や古い電話帳にはさんでいきます。水気を吸って、冬にはきれいな押し葉になっています。

冬の寒い日、容器に水を入れて外に出しておくといかが張ってしまいますね。それを利用して、とっておいた葉っぱや木の実を氷の中に封じ込めてみましょう。

洗面器で



面白い氷の顔が!



小さなペンダントも!

ペットボトルやバケツでも!



秋に木の実や葉っぱを拾った場所で、氷をつくってみてください。「もう、葉っぱ、ついてないんだね。」木を見上げて、こんな子どもたちのつぶやきが聞こえてきます。雪と氷の環境の中で、葉っぱが色づいていた秋の頃の様子を思い出すことでしょう。